
底辺の底辺による底辺のための底辺理論。

乃普介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

底辺の底辺による底辺のための底辺理論。

【Nコード】

N8216T

【作者名】

乃普介

【あらすじ】

底辺作者がなにかを悟ってしまったようです。

(前書き)

主人公≠作者

俺は底辺だ。

なにがってそりゃあ、なろうの作者の中での俺のなんというか……地位みたいなものだ。

俺はいままであらゆる小説を書いてきた。文学から歴史、推理ものにも手を出した。

しかし結果は散々だ。

何度更新してもユニアクは二桁止まり。はつきり言って、お気に入りが増えてもそれが減る恐怖が募るだけだ。

もう、こんな思いは嫌だ。

そう思い、何度ファンタに手を出そうとしたかshれない。

だが、それは、それだけは出来なかった。

結局俺が底辺である理由はそこにあるのだろう。異世界ハーレムファンタジーを書けばお気に入りが増えるかもしれない。ポイントも、ユニアクだって信じられないくらいに増えるだろう。

だが、それは違うのだ。それは自分が書きたい小説ではない気がするのだ。自ら書くのではなく読者に書かされているような感覚が嫌いなのだ。

自分は負けず嫌いなんだと思う。それでもよかった。だれにんと言われようと自分が書きたい小説でいつか有名になって見せる。もはやこれは単なる遊びではない。趣味ではない。男のプライド

を賭けた戦いなのだ。

そんな、厨二病なことを考えて俺は志しを同じくする同志に会うべく、2ちゃんねるへ足を運ぶのであった。

ここに来ている限り俺の底辺ロードは続くのだろうと悟りながら。

（後書き）

最近異世界ハーレムファンタジー書き始めました。嘘ですけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8216t/>

底辺の底辺による底辺のための底辺理論。

2011年10月8日15時40分発行